

初級から上級までの一貫シリーズ Vol. 3

まな
学ぼう！にほんご
さくぶんれんしゅうちょう
作文練習帳

初中級(日本語能力試験N3／日本語NAT-TEST3級対応)

日本語教育教材開発委員会 編著

専門教育出版

Copyright © 2015 by Textbook Ad Hoc for Japanese Language Education

All rights reserved.

Published by Senmon Kyouiku Publishing Co., Ltd.

Printed in Japan

本書の構成

本書は4章15節からなり、各節は下の(1)～(9)で構成されています。

(1) 目標

その節で学んだことで、何ができるようになるかを定めたものです。一つの節で一つの目標が無理なく達成できるように設定しています。

(2) テキスト

本書がテキスト『学ぼう！にほんご 初中級』の何課に対応しているかを示しました。テキストで学んだ文型や表現を各節ごとに扱います。

(3) テーマ

目標を具体化したものです。作文の準備段階としてこのテーマで教師と学習者が話し合ってみてください。

(4) 読んでみよう

各節のテーマに沿った文章例です。学習者が実際に作文を書くときの見本です。これを読み、単語や文型の使い方、文章の構成などを学びます。

(5) 文型

「読んでみよう」に出てきた文型と、テキスト『学ぼう！にほんご 初中級』に出てくる文型を中心に載せています。テキストの文型を定着させるために「▶」の後にはその文型を使った例文を載せています。

(6) 表現

文章中に出てきた単語やフレーズです。これらはテキスト『学ぼう！にほんご 初中級』には出てきませんが、よく使う言葉なので紹介しました。

(7) 考えてみよう

「読んでみよう」の読解問題です。作文を書く前のウォーミングアップです。

(8) 書いてみよう

実際に原稿用紙を使って文章を書く練習をします。各節のテーマに沿った複数の質問があります。作文を書くとき、それらの答えを順に配列すれば、自然に1つにまとまった文章が書けるようにしました。また、書く目安となる時間を設定しました。

(9) コラムと巻末資料

作文を書く上で有用となるコラムを8つ掲載しました。また、本書巻末には「文型一覧表」と「表現一覧表」を載せました。

初級から上級までの一貫シリーズ Vol. 3

まな
学ぼう！にほんご
さくぶんれんしゅうちょう
作文練習帳

初中級(日本語能力試験N3／日本語NAT-TEST3級対応)

日本語教育教材開発委員会 編著

専門教育出版

はじめに

本書は『学ぼう！にほんご 初中級』に準拠した作文練習帳です。「学ぼう！にほんご」の教科書シリーズは、初級1、初級2、初中級、中級、中上級、上級から構成されています。関連教材として語彙、文法学習の「練習問題集」、漢字学習の「漢字練習帳」などがありますが、本書は作文能力の育成のために編纂された「作文練習帳」シリーズの一冊です。『学ぼう！にほんご 初級2 作文練習帳』までに学んだ作文能力を想定して、本書を作成しました。

本書の学習目標は、中級の前の段階の日本語学習者が、最終的に400字程度で自分の意見や主張を表現豊かに書けるようになることです。そのために本書では、『学ぼう！にほんご 初中級』で学んだ単語や文型を扱って定着をはかりつつ、未習であってもよく使う単語や語句も提示して、より充実した内容の文章が書けるように編集されています。

本書の特徴として、各節に、文章例を読み内容理解を問う問題を設けました。これにより文章の構成や書き方の理解が深まるので、作文に取り組む前の準備段階として非常に重要となります。

本書の構成は、下のように書く文章の長さで4章に分けられています。

第1章 200字以内

第2章 200字～300字

第3章 300字程度

第4章 400字程度

各章はそれぞれ4節構成(第4章のみ3節)で、計15節あります。各節には「依頼」や「感謝」など様々なテーマが設定されているので、本書を学ぶことで多面的な作文能力を養うことができます。授業で使用する際は、1節につき1、2コマを想定しています。

また本書に収録したコラムでは、作文の参考になるように、文と文のつながり方や自然な日本語の書き方を紹介しています。

教師の皆様方には、学習者が自分の経験や考えを日本語で表現できるようになるために、ぜひ本書をご活用していただければ幸いです。

2015年10月
編集者代表記す

学習者の方へ（この本の使い方）

この本は『学ぼう！にほんご 初級2』の勉強が終わって、初中級の勉強を始めた人が使う作文練習の本です。まだ長い文章を書いたことがない人や苦手な人でも、短い作文から始めて、文章の組み立てを勉強しながら、少しずつ長い文章を書くことができるようになっていきます。

この本は第1章から第4章まであります。『学ぼう！にほんご 初中級』で勉強する文型を使って、文章を書いていきます。第1章では、身近なテーマを使って、文章を書くウォーミングアップをします。第2章では200字～300字の文章を書く練習をします。第3章では300字程度を書きます。最後に第4章では400字程度の長い文章を目指します。

各章には4節あります（第4章だけ3節）。各節は、主に下の4つからできています。

- (1) テーマ……………この節で勉強することを知る
- (2) 読んでみよう……テーマをもとに書かれた文章を読む
- (3) 考えてみよう……読解問題に答える
- (4) 書いてみよう……自分で文章を書く

日本語の作文が上手に書けるように、最後までがんばりましょう。

だい せつ じ こ
第 8 節 自己 PR する..... 52

目標：自分の長所や特技、経験を含めた自己 PR 文を書く

だい しょう てい ど ぶんしょう
第 3 章 目標：300 字程度の文章が書ける

だい せつ じょうほう つた ぶんしょう
第 9 節 イベント情報を伝える..... 60

目標：必要な情報をわかりやすく伝える文章を書く

だい せつ の
第 10 節 意見を述べる..... 68

目標：相手の意見に賛成（反対）の理由を書く

だい せつ かんじょう ひょうげん
第 11 節 感情を表現する..... 76

目標：物事や体験について、自分の感じ方を書く

だい せつ
第 12 節 アドバイスする..... 82

目標：相手の状況や気持ちを理解して、アドバイスを書く

だい しょう てい ど ぶんしょう
第 4 章 目標：400 字程度の文章が書ける

だい せつ しょうらい よそく
第 13 節 将来を予測する..... 92

目標：情報から現在の様子を理解し、未来を推測して書く

だい せつ か こ げんざい ひかく
第 14 節 過去と現在を比較する..... 100

目標：文やグラフを読み、過去と現在を比べ、変化を書く

だい せつ しゅちょう
第 15 節 考えを主張する..... 104

目標：自分の意見を、理由を示しながら論理的に書く

だい しょう 第 1 章

[目標]

み ぢか ぶんしょう
身近なテーマの文章が書ける

- だい せつ しょうかい
第 1 節 みんなに友だちを紹介する
- だい せつ いらい きょか もと
第 2 節 依頼する / 許可を求める
- だい せつ かんしゃ あらわ
第 3 節 感謝を表す
- だい せつ さそ いらい ことわ
第 4 節 誘い、依頼を断る



考えてみよう

1. ラマさんは学校が終わったあと、何をしていますか。

2. ラマさんは学校を卒業^{そつぎょう}してから、何をするつもりですか。



書いてみよう

1. あなたのクラスにはどんな友だちがいますか。

2. その友だちはどんな生活^{せいかつ}をしていますか。

例：忙しい^{いそが}／楽しい^{たの}／宿題^{しゅくだい}をする／早く^お起きる／料理を作る／アルバイト

3. その友だちは将来^{しょうらい}、何をするつもりですか。

例：専門学校^{せんもん}・大学^{だいがく}・大学院^{がくいん}に入りたい／日本の会社^{はたら}で働きたい

あなたの友だちについての紹介文^{しょうかいぶん}を書きましょう。

⌚ 10分



書いてみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

1. 友だちの名前は何ですか。いつ、どこから来ましたか。

2. その友だちはどんな^{せいかく}性格ですか。

その友だちはどんな性格ですか。

例：優しい／親切な／明るい／努力家／元気な／静かな／面白い

3. その友だちの趣味は何ですか。

その友だちの趣味は何ですか。

例：音楽／まんが／アニメ／小説／インターネット／ゲーム／スポーツ

4. その友だちの特技は何ですか。

その友だちの特技^{とくぎ}は何ですか。

例：ピアノ／ギター／料理／ダンス／水泳^{すいえい}

あなたの友だちの性格、趣味、特技について書きましょう。

⌚ 10 分

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are approximately 20 lines visible. The paper appears to be part of a notebook or binder, as there's a slight shadow on the right edge suggesting it's bound. The overall appearance is clean and unused.